

農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

 (3) 取引市場の社員が現場体験
JA東西しらかわ (福島県)

新規	継続
○	
	(平成 年 月)

1 動機(経緯)	JA東西しらかわでは、「農産物の安心・安全」の理解促進を目的に、当JAの取引市場の社員を対象に圃場体験を実施しました。
2 概要	管内主力野菜であるきゅうり・トマトの生産者圃場にて収穫体験や出荷規格に基づいた選果作業、箱詰めなどを行いました。
3 成果(効果)	市場関係者からは「日頃取り扱っている農産物収穫の苦労が身に染みて体験できました。また、選別・箱詰め作業では細かく規格選別が行われ、箱詰めに関してはうまく農産物を詰めることができず苦労した。」「どんな生産者の方がどんな圃場で生産しているか知ることができた。この体験を話しながら少しでも有利に販売していけるように繋げていきたい。」など、生産現場を体感することで、取引市場に対して、「生産現場の努力」、「農産物の安心・安全」に関する理解を深めることができました。
4 今後の予定	今後も本取組みを継続し、「農産物の安心・安全」のPRを行っていく予定です。

【体験の様子】
